

# 公共事業に係る効果等について

---

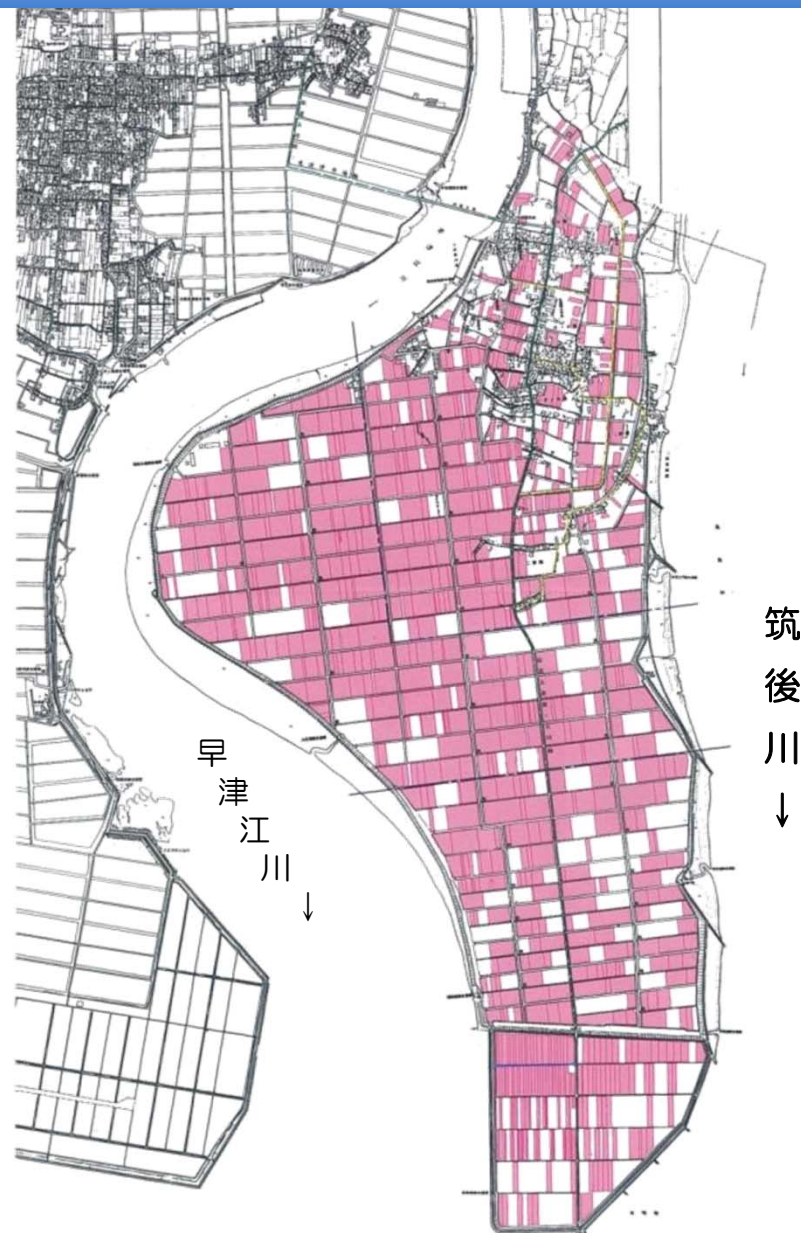
県営地域水田農業支援緊急整備事業  
大詫間地区

(農地整備課)

# ○事業概要



- 事業名 県営地域水田農業支援緊急整備事業
- 地区名 大詫間地区
- 所在地 佐賀市川副町
- 工期 平成18年度～平成22年度
- 総事業費 279,767千円
- 事業内容 暗渠排水 A=329.3ha



# ○事業の背景と目的

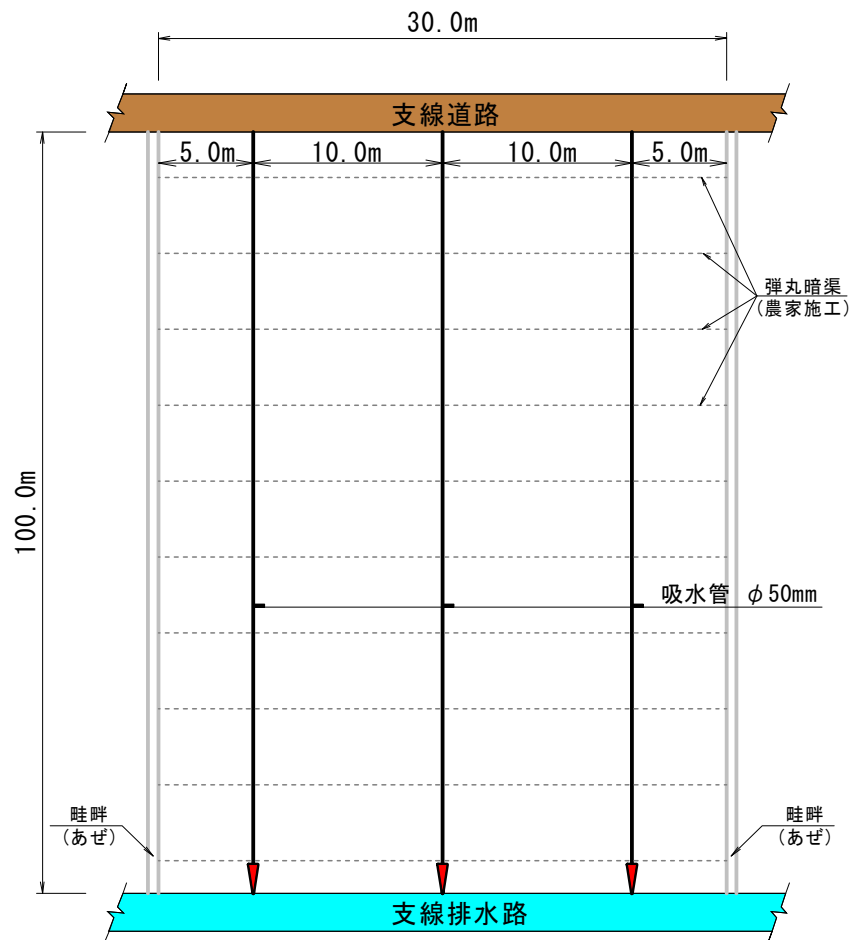
本地区は、昭和44年～53年にかけて、ほ場整備を実施したが、当時施工した暗渠排水施設の機能が低下し、排水不良となり、農作業や畑作物の作付け、その生育に影響が出ていた。

このため、ほ場の排水対策（暗渠排水）を行うことにより、稲作だけではなく、転作による大豆や野菜、稲刈り後の裏作である麦など、水田のフル活用に向け多様な営農ができるよう、畑作物に適した土壌環境（乾田化）を確保することとした。

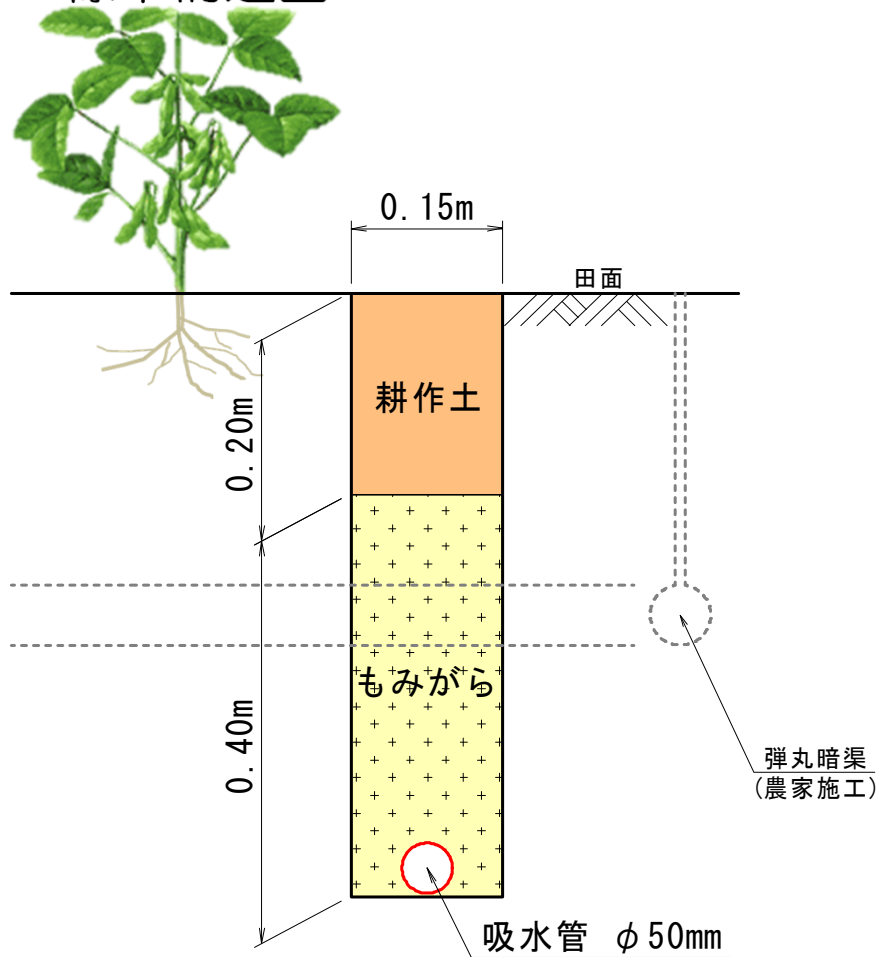


# ○暗渠排水の標準図

▽標準配置図

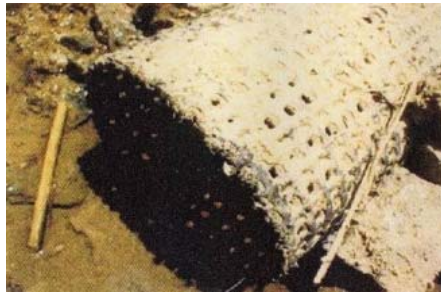


▽標準構造図



# ○整備前の状況

機能低下した暗渠排水



△ 変形し目詰まりした吸水管



△ 腐食した疎水材（もみがら）



排水不良の農地



△ 排水が悪い農地

▽ 生育不良の大豆



△ 生育不良の麦

# ○施工状況

## ▽ トレンチャーによる施工状況



### トレンチャーによる施工

掘削、吸水管の敷設、疎水材（もみがら等）の投入を一連作業で実施。

## ▽ 疎水材（もみがら）の投入状況



### もみがら

全国的に最も多く使用され、安価な疎水材として地元共乾施設等の協力を得て使用している。

# ○整備後の排水状況

## ▽ 降雨後の排水状況



30年以上経過した(吐出管)  
目詰まり等による排水不良

再整備した暗渠排水(吐出管)  
排水良好

既存の暗渠排水管の中間部に新しく排水管を設置しており、  
新設の吐出管からは、良好な排水がなされている。

# ○事業の効果

- 農地の排水条件が改善



- 乾田化により大型機械の導入が可能になり、労働時間が短縮
- 畑作物の収量増加、露地・施設野菜の栽培面積の増加



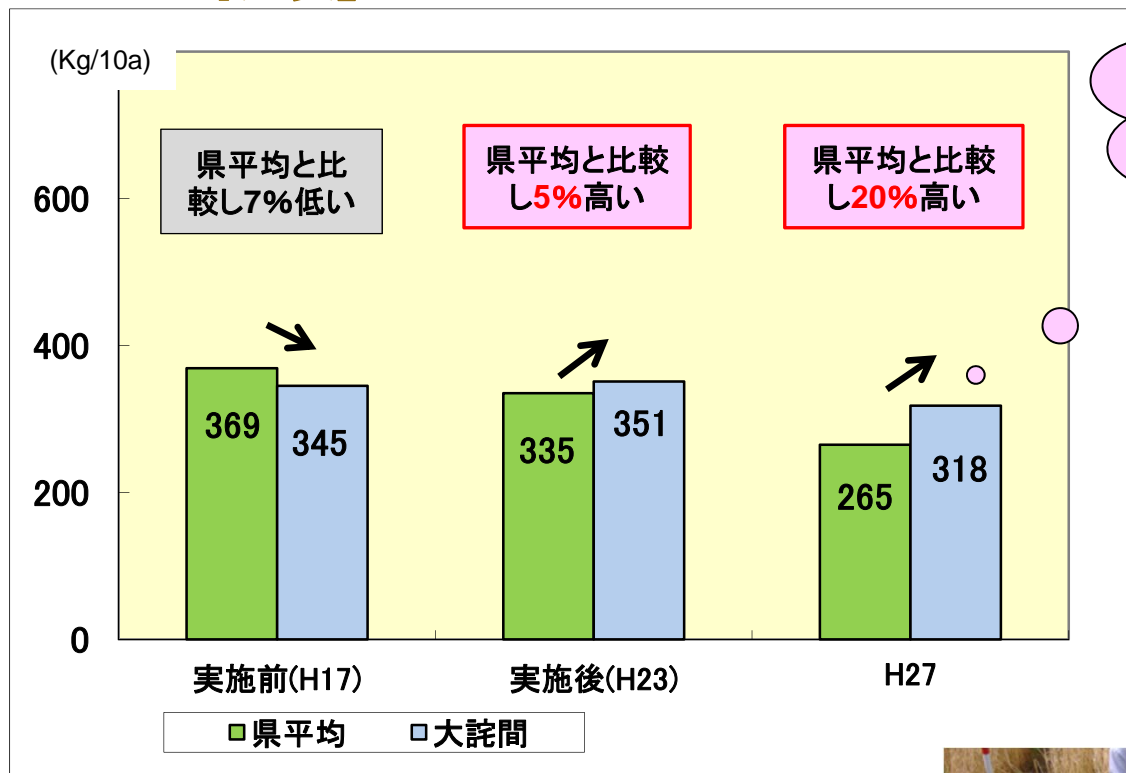
- 生産性の高い農地の確保に伴う担い手農家への農地集積が促進





# ○事業の効果 ◆◇乾田化による畑作物の収量増【大麦】◇◆

## ▽ 『大麦』

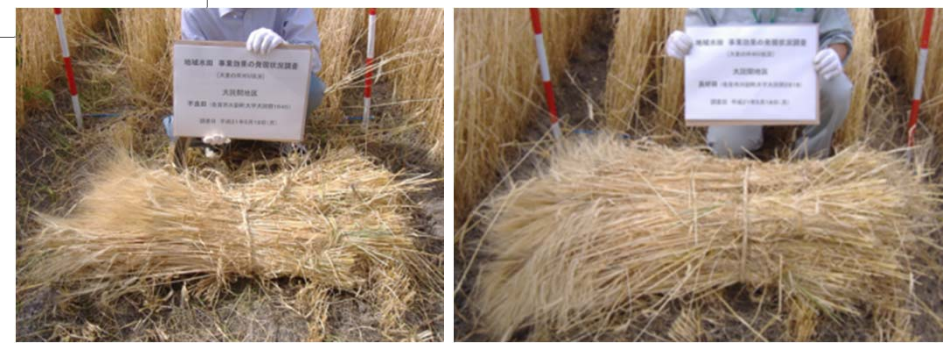


事業実施後は、毎年県平均単収を上回る収量が確保されている。

▽ 生育が良好な大麦



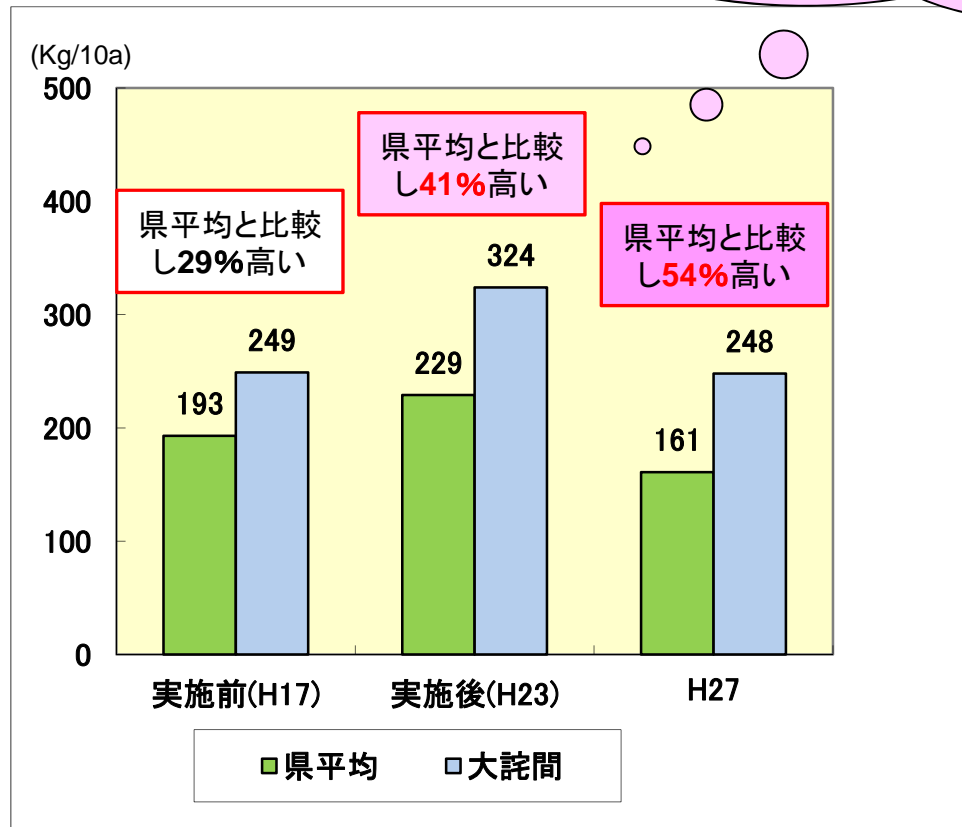
大詫間地区では、小麦も大麦と同程度の作付けをしており、小麦においても、県平均より高収量の成果を持続している。



# ○事業の効果 ◆◇乾田化による畑作物の収量増【大豆】◇◆

## ▽『大豆』

県平均収量との比較において、事業実施後の収量は、実施前と比較し、**より高い伸びを示している。**



排水条件の改善に伴い、生育が良くなり、収量が増加している。



# ○事業の効果

## ◆◇担い手への農地集積率の増加◇◆

事業を契機に、担い手への  
農地集積が加速化！

大詫間地区 農用地面積A=476ha  
(うち本事業受益面積A=329.3ha)

項 目	地区農地面積 (ha)	担い手経営面積 (ha)	集積率 (%)	備考
事業着手前 (H17)	476.0	140.8	30.0	
事業完了時 (H22)	476.0	207.2	43.5	
<b>現 在</b> (H28)	476.0	<b>454.0</b>	<b>95.3</b>	

暗渠排水の整備により、大型機械での作業効率が良くなり  
作物の生育も良好な環境となったことから、事業完了後  
急速に農地集積が進んでいる。

# ○農家の意見

## 【メリット】

○排水の悪い農地だったが、暗渠排水事業を取り組んだことにより**作物の生育が良くなり、収量が増加した。**

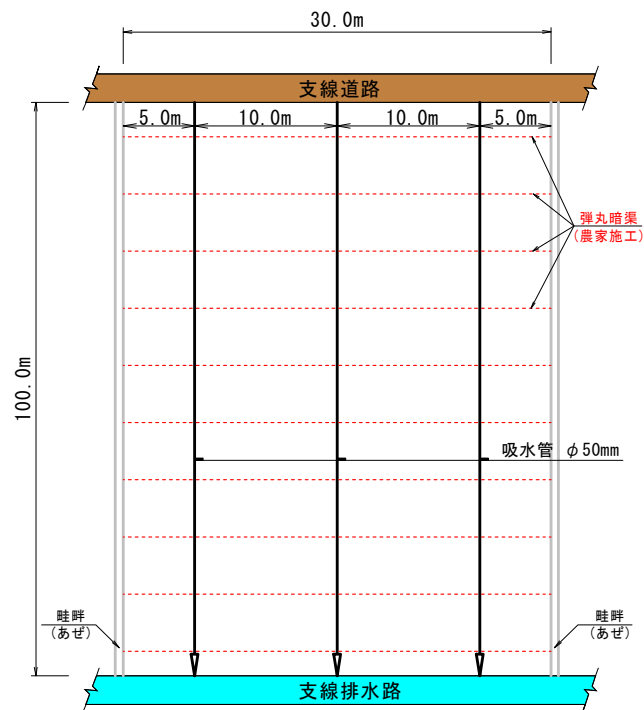
○排水が良くなり、適期に耕起、播種等の作業が行えるようになったため、作業の効率化と収量増につながった。

○乾田化したことにより、田面の雑草繁茂が減少し、**作業の手間が省けた。**

○担い手への農地集積が進み、**大型機械の導入や水管理が楽になった。**

# ○弾丸暗渠(参考)

▽標準配置図



▽標準構造図

